

# 国際化推進室ニュースレター No7

## —新着情報—

### ◆姉妹大学との交換留学（受入）

平成20年度交換留学生として来学したのは5名です。平成21年3月末までの1年間、本学で開講される科目群を履修します。

大学名	氏名	性別	受入学部
慶南 大学校	姜 炫旭 カン ヒョンヒク	男	国際文化
	宋 恩珍 ソン ウンジン	女	国際文化
曲阜師範 大学	孫 作文 ソン サクワン	女	国際文化
ビショップス 大学	Bridget Mckenzie ブリジエット マッケンジー	女	国際文化
青島大学	刘 胭脂 リュウ エン	女	国際文化 学研究科

後期には、センター大学から8名、ビショップス大学から3名、ナバラ州立大学から2名など、多くの学生が来学する予定です。

### ◆受入学生の地域活動◆

カナダ・ビショップス大学からの交換留学生ブリジエットさんが、5月8日から毎週木曜日、宮野小学校で開かれる「先生のための英語教室（茶話会）」に出席します。小学校5・6年生に英語の授業が導入されることが決まり、小学校では英語に自信をつけたいという先生方のために、自主活動として英語で会話をする会が始まっています。

### ◆姉妹大学との交換留学（派遣）

本学から交換留学に派遣するのは8名です。韓国へは平成21年2月まで、ビショップス大学やセンター大学、ナバラ州立大学は平成21年春まで派遣されます。

大学名	氏名	性別
慶南大学校	阿波野 優美	女
	小野 華奈	女
センター大学	潮田 紗希子	女
ビショップス 大学	福富 菜月	女
ナバラ州立大学	田中 沙織	女
	伊敷 江莉果	女
	茶谷 玲奈	女
	原 このみ	女

ビショップス大学には、日本語ティーチングアシスタントとして前原望美さんも派遣されます。

### ◆派遣学生の地域活動◆

韓国・慶南大学校に派遣された阿波野さんと小野さんから便りが届きました。「みなさん、お元気ですか。先日、慶南地域の留学生を対象とした研修会に、日本人代表として参加させていただく機会を得ました。一泊二日の研修で、貴重な体験をすることが出来ました。五月には中学校に行き、日本文化を教える活動をしてきます。そのための準備で忙しい日々を送っていますが、頑張ってみようと思います。」

### ◆「留学生パック贈呈式」が行われました

2008年4月9日（水）に、山口留学生交流会会長ほか3名が来学され、新たに本学に仲間入り

した交換留学生6名および私費留学生2名に対して、「留学生パック贈呈式」が行われました。

山口留学生交流会は、山口市在住の留学生を支援し、会員相互の親睦と市民の国際交流に寄与する活動を推進している団体です。秋の「りんご狩りバスツアー」は特に、留学生やその家族に人気があります。古川綾子会長が、「日本、そして山口には美しい場所がたくさんありますので、是非いろいろな場所を見て、様々な文化を体験してください」と挨拶された後、市民から提供された日用品等や、英語や中国語などで書かれた生活ハンドブックが留学生に贈られました。



#### ◆グローバル学生交流事業に過去最多の学生参加

学部再編後の新しいカリキュラムでは、すべての学生に「自己の国際化に努める」機会を用意するため、教養科目群に「国際理解」「国際情勢」「国際交流」等をおいています。このうち、「国際交流」を履修した学生はグローバル学生交流事業に参加し、韓国や中国から来日する学生たちと3週間にわたった交流に参画します。

本年度の履修者は、昨年度の2倍となる165名。内訳は国際文化学部25名、社会福祉学部46名、看護栄養学部94名（看護学科62名、栄養学科32名）となっています。国際交流をしてみたいという学生がこれだけ多いということに、あらためて驚くと同時に、地域社会が国際化する時代に生まれ育った若者のニーズを生かした新しいプログラムの開発が必要な時期にきていると思われます。

学生一人ひとりに交流の機会を保障するため、

国際化推進室ではプログラムの企画運営に最大の力を注ぎます。「国際交流は、本学の学生のために、本学の学生とともに」が、私たちのモットーです。

#### ◆大学教育の国際化加速プログラムに選定

国際化推進室が申請した事業「英語で世界に発信する地域遺産教育の開発—LOLを取り入れた『やまぐちスタディーズ』の構築を目指して—」に、文部科学省から助成金が交付されます。本学では英語で行なう授業を19科目用意し、日本人学生でも留学生でも履修できる環境を整えてきました。これをもとに、山口の有する歴史的・文化的遺産について深く学ぶコースを、欧米の先進的教育プログラムを参考に開発します。すでに試行を始めた「郷土文学遺産（中原中也・嘉村磯多・金子みすず）」に加え、「歴史探訪遺産（大内・毛利・明治維新）」、「文化交流遺産（ハワイ移民・宮本常一民族学）」、「クラフト&デザイン遺産（萩焼・大内塗・竹製品・デニム）」の4つの中心的なカリキュラムを開発し、学びの成果を英語で発信します。

#### ◆国際化推進室員が配置されました

国際化推進室に待望の専任職員（中島主任）が配置されました。これにより、従来の週1回の開室から、常時室員が対応できる体制に移行します。これを機に、新しい国際化推進室が学習棟2階に移動しました。ホームページも開設したので、今後は内容の充実に努めます。



Tel(内線):3413

email:kokusaika@yamaguchi-pu.ac.jp